

社民党 県連合ニュース

社民党福島県連合
郡山市桑野2丁目25-16
024-922-8990

社会民主党福島県連合

第37回定期大会

県民の命と暮らしを守り、「国民生活より利権優先」する自公政権を打倒し、会津坂下町議選・いわき市議選そして衆議院選勝利に向け、全党員の総力を結集し全力を挙げて戦い抜きましょう。

大会成功に向け、全総支部での全黨員による討論をお願いします。

とき 2024年3月3日(日) AM.10時から

ところ 郡山市桑野公民館 大集会室

政治資金パーティー券の裏金問題に代表される「政治とカネ」問題、沖縄県民の民意を無視した辺野古基地建設への代執行の強行、社会保障や教育の削減といった岸田政権の「国民生活より利権優先」政治など、自公政権のやりたい放題の横暴を徹底追及しなければなりません。

非正規労働者、低賃金での不安定な雇用、そして、敵基地攻撃や防衛費4.3兆円の軍拡増税、辺野古基地建設の強権発動等々、国民生活破壊・平和憲法破壊・利権優先の大軍拡路線を暴走する、裏金スキャンダルまみれの岸田自民党政権、これだけ腐敗した自公政権を何とかしなければ。

政治の転換で戦争と生活破壊を止めよう

= 金まみれの自民党政権に終止符を =

原発再稼働を許さない

子供たちの笑顔が忘れられない

いわき市民の輪・くらし・労働なんでも相談

石川県を中心にマグニチュード7以上の大地震と4mを超す津波の大災害となりました。行方不明者を含めて被災者のことが心配でなりません。さらに寒さも厳しくなっており、生活を共にしている犬や猫、小鳥など動物たちもどうしているのかも気になります。

志賀原発も持ちこたえたようですが、外部電源の変圧器が損傷し、2万リットル以上の油漏れが相次いで発生。道路も寸断されており、福島第1原発のようになったら逃げるに逃げられない大惨事になるところでした。

13年前の東日本大震災の経験を思い出しました。

原発の大爆発で避難を余儀なくされ、地震と津波により私の住んでいる四倉町では23人の方が亡くなり、隣町の久ノ浜は火災で街の中心部が焼けてしまいました。いわき市内では原発の爆発で避難を余儀なくされ、市内はゴーストタウンとなり夜は真っ暗になりました。残った人々は毎日、水と食料をもらいに小学校に毎日通いました。被災した石川県民の姿と全く同じでした。

第10回「くらし・労働なんでも相談会」を12月24日行いました。支援者も相談会をやることに増えており、お米30kgを3袋届けてくれた人など、多くの方の協力で300kg以上も集まり、生活困窮者に十分に渡すことができました。

また、労働相談では就職活動や賃金未払、深夜労働の割増賃金不足、約束した時給を下回る月給などの相談が寄せられ、就労センターや労働基準監督署との対応をとりながら解決を図ってきました。

クリスマスには子供たちに、食品とプレゼントを贈り、喜ぶ子供たちの笑顔が忘れられません。

フクシマ原発労働者相談センター 代表 狩野光昭
くらし・労働なんでも相談センター 会長 鈴木 裕

= 社会民主党福島県連合 =